

全国銀行の平成21年度中間決算の状況（単体ベース）

1. 損益状況

（1）資金運用益

全国銀行122行（注1）の平成21年度中間決算をみると、**資金運用益**（資金運用収益－資金調達費用）は、収益、費用ともに減少し、4兆3,619億円（前中間期比129億円、0.3%増）と、前中間期比ほぼ横ばいとなった。

内訳をみると、**資金運用収益**は、貸出金利息および有価証券利息配当金が減少したこと等から、5兆7,148億円（同1兆2,275億円、17.7%減）となった。一方、**資金調達費用**は、預金利息が減少したこと等から、1兆3,528億円（同1兆2,405億円、47.8%減）となった。なお、業務部門別にみると、国内業務では減益となったものの、国際業務は増益となった。

（2）役務取引等収支

各種手数料等の受払収支を示す**役務取引等収支**は、7,984億円（同920億円、10.3%減）と、減少した。

これは、投資信託の販売手数料が減少したこと等による。

（3）業務純益

業務純益は、2兆3,935億円（同3,758億円、18.6%増）と、増益となった。

これは、上記に加えて、外国為替売買損益が損失超過に転じたものの、国債等債券関係損益が改善したこと、トレーディングの収支を示す特定取引収支が増加したこと、ならびに一般貸倒引当金繰入額が減少したこと等による。

（4）経常利益

経常利益は、9,934億円（同5,761億円、138.1%増）と、大幅な増益となった。

これは、業務純益の増益に加えて、景気が持ち直してきていることによる貸出金償却の減少および株式相場が上昇したことによる株式等償却の減少等に伴い、その他経常費用が減少したことによる。

（5）中間純利益

中間純利益は、8,686億円（同3,862億円、80.1%増）と、大幅な増益（注2）となった。

(注1) 平成21年度中間決算における「全国銀行」とは、都市銀行6行（みずほ、三菱東京UFJ、三井住友、りそな、みずほコーポレート、埼玉りそな）、地方銀行64行、地方銀行Ⅱ（第二地方銀行協会加盟銀行）44行、信託銀行6行（三菱UFJ信託、みずほ信託、中央三井信託、住友信託、野村信託、中央三井アセット信託）、新生、あおぞらの122行である。

(注2) 前中間期の「中間純利益」は、預金保険機構から足利銀行に実施された金銭贈与2,566億円を除いて集計。

(注3) 平成20年度中間期、平成20年9月末および平成21年3月末計数に発表後訂正があった場合には、その訂正後の計数（「全国銀行財務諸表分析」掲載・訂正の計数）を使用。

（第1表）損益状況

	平成21年度中間期 (122行ベース)			(単位:億円・%) 平成20年度中間期 (124行ベース)	
	計 数	前中間期比	増減率	計 数	増減率
経 常 収 益	82,888	△13,841	△14.3	96,730	△6.4
資金運用収益	57,148	△12,275	△17.7	69,423	△4.4
役務取引等収益	12,503	△987	△7.3	13,490	△10.7
特定取引収益	3,442	2,258	190.8	1,184	△65.9
その他業務収益	5,202	△1,312	△20.1	6,514	42.2
その他経常収益	3,244	△1,159	△26.3	4,403	△21.7
信託報酬	1,348	△366	△21.3	1,714	△10.7
経 常 費 用	72,953	△19,603	△21.2	92,556	8.0
資金調達費用	13,528	△12,405	△47.8	25,933	△12.4
役務取引等費用	4,519	△68	△1.5	4,586	△0.5
特定取引費用	8	△573	△98.7	581	1,693.4
その他業務費用	5,176	△474	△8.4	5,650	34.4
営業経費	35,020	△115	△0.3	35,135	4.1
その他経常費用	14,700	△5,968	△28.9	20,668	53.5
経 常 利 益	9,934	5,761	138.1	4,173	△76.3
(資金運用益・注)	(43,619)	(129)	(0.3)	(43,490)	(1.1)
(業務純益)	(23,935)	(3,758)	(18.6)	(20,177)	(△21.1)
特 別 利 益	1,471	△2,219	△60.1	3,690	65.0
特 別 損 失	551	△531	△49.1	1,082	△20.4
税引前中間純利益	10,855	4,073	60.1	6,781	△63.4
法人税・住民税・事業税	1,891	△389	△17.1	2,280	△29.3
法人税等調整額	277	600	—	△323	—
中 間 純 利 益	8,686	3,862	80.1	4,824	△60.4

(注) 資金運用益＝資金運用収益－資金調達費用

〔参考1〕 銀行毎の決算状況

(単位:行)

	黒字行			赤字行	
	増益行	黒字転換行	減益行		
業 務 純 益	121 (112)	69 (22)	12 (1)	40 (89)	1 (12)
経 常 利 益	114 (84)	49 (6)	34 (4)	31 (74)	8 (40)
中 間 純 利 益	115 (87)	48 (10)	31 (6)	36 (71)	7 (37)

(注1) () 内は平成20年度中間期(124行ベース)の実績。

(注2) 平成20年度中間期には、預金保険機構から足利銀行に実施された金銭贈与2,566億円を含めている。

〔参考2〕 経常利益の内訳 (業態別)

(単位:億円)

	全国銀行	都市銀行	地方銀行	地方銀行Ⅱ	信託銀行
資 金 運 用 益	43,619 (129)	19,421 (854)	16,403 (△335)	4,853 (△219)	2,465 (△1)
役務取引等収支	7,984 (△920)	4,817 (△288)	1,899 (△361)	286 (△95)	878 (△162)
特定取引収支	3,434 (2,832)	3,053 (2,704)	43 (△14)	— (—)	210 (306)
その他業務収支	25 (△838)	△961 (△3,380)	529 (1,668)	229 (600)	61 (△193)
その他経常収支	△11,456 (4,809)	△6,941 (2,544)	△2,706 (861)	△983 (482)	△611 (250)
信 託 報 酬	1,348 (△366)	150 (△51)	3 (△1)	— (—)	1,195 (△314)
営 業 経 費	35,020 (△115)	15,213 (△28)	12,322 (△84)	3,826 (△54)	3,084 (106)
経 常 利 益	9,934 (5,761)	4,327 (2,411)	3,848 (1,902)	558 (823)	1,114 (△219)
中 間 純 利 益	8,686 (3,862)	4,435 (1,018)	2,857 (1,412)	499 (694)	756 (△81)

(参考)	23,935	13,266	6,479	1,581	2,354
業 務 純 益	(3,758)	(1,763)	(1,200)	(494)	(△25)

(注1) 上段は平成21年度中間期計数、下段 () 内は対前中間期比増減額。

(注2) 平成21年4月1日に、りそな銀行とりそな信託銀行が合併して「りそな銀行」となったことから、前中間期比の算出にあたっては、都市銀行には旧りそな信託銀行を含め、信託銀行からは同行を除いている。

(注3) 「中間純利益」の対前中間期比増減額は、平成20年度に預金保険機構から足利銀行に実施された金銭贈与2,566億円を除いている。

2. リスク管理債権額（銀行勘定）

平成21年9月末におけるリスク管理債権の総額（破綻先債権額、延滞債権額、3カ月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計）は、11兆8,924億円（前期末比3,901億円、3.4%増）となった。

また、貸出金総額に占める割合は、0.16%ポイント上昇して、2.63%となった。

（第2表）リスク管理債権額（銀行勘定）

	平成21年9月末 (122行ベース)			(単位:億円・%)
	計 数	前期末比	増減率	平成21年3月末 (123行ベース)
破 綻 先 債 権 額	14,110	△1,535	△9.8	15,646
延 滞 債 権 額	82,903	4,685	6.0	78,218
3カ月以上延滞債権額	2,204	508	29.9	1,697
貸出条件緩和債権額	19,704	244	1.3	19,460
リスク管理債権総額	118,924	3,901	3.4	115,023
(貸出金総額に対する比率)	(2.63)	(0.16)		(2.47)

(注) 前期末比とは、平成21年3月末計数との比較である。以下同じ。

〔参考3〕金融再生法第7条に基づく「資産の査定」額（銀行勘定）

	平成21年9月末 (122行ベース)			(単位:億円・%)
	計 数	前期末比	増減率	平成21年3月末 (123行ベース)
破 産 更 生 債 権	32,133	△1,615	△4.8	33,748
危 険 債 権	68,179	4,456	7.0	63,723
要 管 理 債 権	21,918	740	3.5	21,177
正 常 債 権	4,693,710	△164,555	△3.4	4,858,265

〔参考4〕金融再生法開示債権の比率（銀行勘定）（業態別）

	(単位:%)				
	全国銀行	都市銀行	地方銀行	地方銀行Ⅱ	信託銀行
金融再生法 開示債権比率	2.54	1.83	3.25	4.28	1.71

(注) 金融再生法開示債権比率 = (破産更生債権 + 危険債権 + 要管理債権) ÷ (破産更生債権 + 危険債権 + 要管理債権 + 正常債権)

3. 利回り・利鞘（国内業務）

国内業務部門の利回りをみると、**預貸金利鞘**は、貸出金利回り(A)および預金債券等原価(C)がともに低下したものの、貸出金利回りの低下幅が預金債券等原価の低下幅を上回ったことから、前中間期比0.01%ポイント縮小し、0.54%となった。

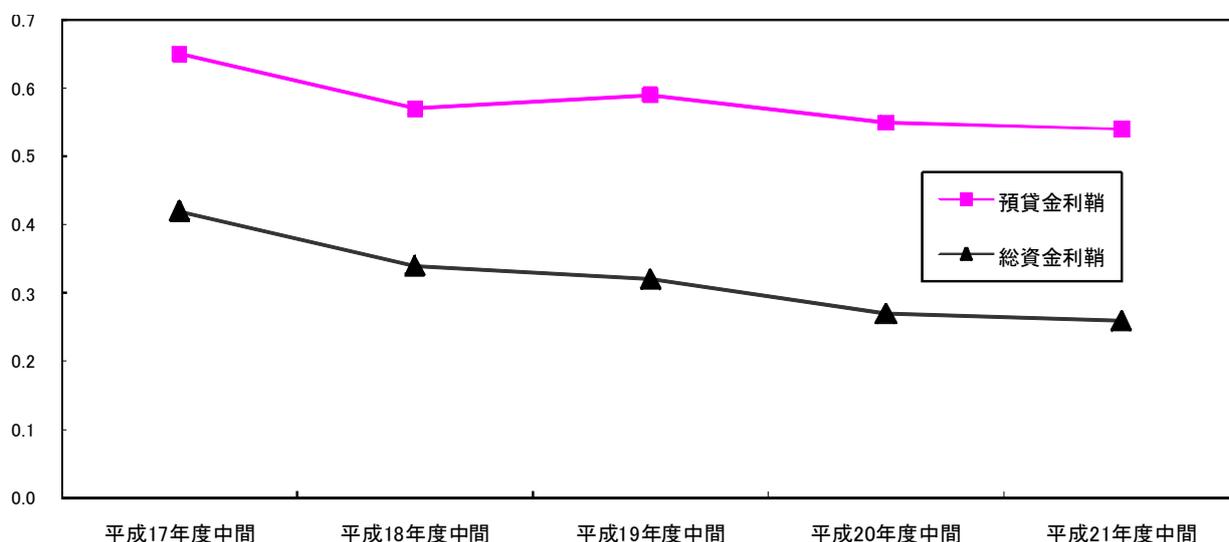
一方、**総資金利鞘**は、資金運用利回り(B)および資金調達原価(D)がともに低下したものの、資金運用利回りの低下幅が資金調達原価の低下幅を上回ったことから、前中間期比0.01%ポイント縮小し、0.26%となった。

〔第3表〕 資金運用利回り・資金調達原価および利鞘（国内業務）

(単位:%・ポイント)

	平成21年度中間期 (122行ベース)	前中間期比	平成20年度中間期 (124行ベース)
貸出金利回り(A)	1.82	△0.18	2.00
有価証券利回り	0.92	△0.29	1.21
コールローン等利回り	0.76	△0.25	1.01
資金運用利回り(B)	1.48	△0.20	1.68
預金債券等利回り	0.23	△0.10	0.33
預金利回り	0.22	△0.09	0.31
経費率	1.05	△0.07	1.12
人件費率	0.44	△0.01	0.45
物件費率	0.55	△0.05	0.60
預金債券等原価(C)	1.28	△0.17	1.45
コールマネー等利回り	0.58	△0.23	0.81
資金調達原価(D)	1.22	△0.19	1.41
預貸金利鞘(A)-(C)	0.54	△0.01	0.55
総資金利鞘(B)-(D)	0.26	△0.01	0.27

〔参考5〕 預貸金利鞘と総資金利鞘の推移（過去5年）



4. 主要勘定（末残）

(1) 資金調達

預金は、576兆5,820億円（前期末比2,297億円、0.0%増）、譲渡性預金は、39兆623億円（同3兆6,259億円、10.2%増）となった。

(2) 資金運用

貸出金は、452兆5,979億円（同13兆3,992億円、2.9%減）、有価証券は、216兆7,307億円（同21兆9,174億円、11.3%増）となった。

(3) その他

純資産の部合計は、35兆1,171億円（同6兆1,495億円、21.2%増）となった。

なお、参考までに繰延税金資産の残高をみると、3兆7,594億円（同1兆2,960億円、25.6%減）となった。

（第4表）主要勘定（末残）

	平成21年9月末 (122行ベース)					平成20年9月末 (124行ベース)	
	計 数	前期末比		前中間期末比		前期末比	前中間期末比
		増減額	増減率	増減額	増減率	増減率	増減率
預 金	5,765,820	2,297	0.0	125,208	2.2	△0.2	1.6
譲渡性預金	390,623	36,259	10.2	44,126	12.7	3.3	9.4
債 券	33,644	△11,088	△24.8	△21,415	△38.9	△6.7	△14.3
コールマネー等	221,172	3,184	1.5	7,013	3.3	8.2	5.2
借 用 金	263,763	△44,779	△14.5	55,656	26.7	8.4	4.3
調達勘定計	6,675,024	△14,128	△0.2	210,589	3.3	0.4	2.0
負債合計	7,730,467	△48,742	△0.6	273,282	3.7	△0.0	2.9
純資産合計	351,171	61,495	21.2	24,378	7.5	△6.2	△15.3
貸 出 金	4,525,979	△133,992	△2.9	115	0.0	1.5	3.3
有 価 証 券	2,167,307	219,174	11.3	322,686	17.5	△1.7	△5.6
コールローン等	150,137	13,413	9.8	12,969	9.5	△7.4	△17.7
運用勘定計	6,843,424	98,596	1.5	335,770	5.2	0.4	0.1
資 産 合 計	8,081,640	12,753	0.2	297,660	3.8	△0.3	1.9

（注）コールマネー等には売渡手形、コールローン等には買入手形を含む。

〔参考6〕繰延税金資産の残高（業態別）

	（単位：億円・%）				
	全国銀行	都市銀行	地方銀行	地方銀行Ⅱ	信託銀行
繰延税金資産	37,594 (△25.6)	19,568 (△20.5)	10,247 (△31.6)	4,273 (△16.5)	3,148 (△41.6)

（注）上段は平成21年9月末計数、下段（ ）内は対前期末比増減率。

5. 自己資本比率

国際統一基準採用行（14行）をみると、単体ベース、連結ベースともに全行が8%以上であった。

国内基準採用行（108行）をみると、単体ベース108行、連結ベース101行（注1）が4%以上であった。

（注1）連結財務諸表規則に基づく重要性の原則を適用して、都市銀行1行、信託銀行2行、地方銀行Ⅱ4行の計7行は、連結財務諸表を作成していない。

（注2）バーゼルⅡの信用リスクの基礎的内部格付手法を適用している銀行は、単体14行（国際統一基準採用行7行、国内基準採用行7行）、連結13行（国際統一基準採用行7行、国内基準採用行6行）。

6. 営業経費・職員数・店舗数・銀行代理業者数

営業経費は、前中間期比115億円、0.3%減となった。

職員数・店舗数をみると、職員数は、30万7,939人（前中間期末比2.1%増）、店舗数は、1万3,494店（同40店、0.3%減）となった。

一方、銀行代理業者・営業所等の数をみると、代理業者数は90、営業所又は事務所の数は、2,137となっている（ただし、この中には他の銀行の代理業者である銀行および銀行店舗を含む）。

（第5表）営業経費・職員数・店舗数・代理業者数

（1）営業経費

（単位：億円・%）

	平成21年度中間期 （122行ベース）	前中間期比	増減率	平成20年度中間期 （124行ベース）
営業経費	35,020	△115	△0.3	35,135

（2）職員数・店舗数

（単位：人・店・%）

	平成21年9月末 （122行ベース）	前中間期末比	増減率	平成20年9月末 （124行ベース）
職員数	307,939	6,205	2.1	301,734
店舗数	13,494	△40	△0.3	13,534

（注）店舗数には出張所を含む。

(3) 銀行代理業者数

(単位:社(人)・店・%)

	平成21年9月末 (122行ベース)	前中間期末比	増減率	平成20年9月末 (124行ベース)
代理業者数	90	△11	△10.9	101
営業所等数	2,137	387	22.1	1,750

(注) 上記の計数には、他の銀行の代理業者である銀行および銀行店舗を含む。

平成21年度中間決算の状況（連結ベース）

1. 損益状況

(1) 経常利益

経常利益は、1兆993億円（前中間期比4,820億円、78.1%増）と、大幅な増益となった（増益48行、黒字転換28行、減益28行、赤字8行）。

(2) 中間純利益

中間純利益は、8,604億円（同2,857億円、49.7%増）と、増益（注1）となった（増益47行、黒字転換29行、減益30行、赤字6行）。

（注1）前中間期の「中間純利益」は、預金保険機構から足利銀行に実施された金銭贈与2,566億円を除いて集計。

（注2）連結の計数は、連結財務諸表規則に基づく重要性の原則を適用して、連結財務諸表を作成していない都市銀行1行、信託銀行2行、地方銀行Ⅱ4行および他の銀行の被連結銀行である地方銀行1行、地方銀行Ⅱ2行を除いた112行ベースで集計している。

（注3）平成20年度中間期および平成21年3月末計数に発表後訂正があった場合には、その訂正後の計数（「全国銀行財務諸表分析」掲載・訂正の計数）を使用。

（第1表）連結損益状況

	平成21年度中間期 (112行ベース)			(単位:億円・%)	平成20年度中間期 (113行ベース)
	計 数	前中間期比	増減率		計 数
経 常 収 益	95,349	△16,633	△14.9		111,982
資金運用収益	59,415	△14,395	△19.5		73,810
役務取引等収益	15,158	△1,291	△7.8		16,448
経 常 費 用	84,355	△21,454	△20.3		105,809
資金調達費用	12,933	△14,153	△52.3		27,086
役務取引等費用	4,199	61	1.5		4,138
経 常 利 益	10,993	4,820	78.1		6,173
税金等調整前中間純利益	12,246	2,867	30.6		9,379
法人税・住民税・事業税	2,220	△655	△22.8		2,875
法人税等調整額	181	760	—		△578
中 間 純 利 益	8,604	2,857	49.7		5,746

2. リスク管理債権額

平成21年9月末におけるリスク管理債権の総額（破綻先債権額、延滞債権額、3か月以上延滞債権額および貸出条件緩和債権額の合計。なお、信託勘定は含まない。）は、12兆6,008億円（前期末比4,630億円、3.8%増）となった。

また、貸出金総額に占める割合は、0.18%ポイント上昇して、2.78%となった。

（第2表）連結のリスク管理債権額

	平成21年9月末 (112行ベース)			(単位:億円・%)
	計数	前期末比	増減率	平成21年3月末 (112行ベース)
				計数
破綻先債権額	14,771	△1,597	△9.8	16,369
延滞債権額	87,696	5,420	6.6	82,276
3か月以上延滞債権額	2,210	438	24.7	1,772
貸出条件緩和債権額	21,327	369	1.8	20,959
リスク管理債権総額	126,008	4,630	3.8	121,378
(貸出金総額に対する比率)	(2.78)	(0.18)		(2.60)

(注) 信託勘定は含まない。

（第3表）連結主要勘定（末残）

	平成21年9月末 (112行ベース)			(単位:億円・%)
	計数	前期末比	増減率	平成21年3月末 (112行ベース)
				計数
預金	5,744,656	30,209	0.5	5,714,446
譲渡性預金	375,277	33,053	9.7	342,223
債券	33,637	△11,083	△24.8	44,719
コールマネー等	222,700	3,160	1.4	219,541
借入金	240,900	△34,992	△12.7	275,892
調達勘定計	6,617,171	20,348	0.3	6,596,823
負債合計	7,920,688	14,050	0.2	7,906,637
株主資本合計	325,096	26,050	8.7	299,046
評価・換算差額等合計	22,367	36,643	—	△14,276
少数株主持分	64,541	△1,321	△2.0	65,862
純資産合計	412,041	61,379	17.5	350,662
貸出金	4,539,060	△125,347	△2.7	4,664,407
有価証券	2,092,970	211,395	11.2	1,881,574
コールローン等	155,824	17,040	12.3	138,783
運用勘定計	6,787,854	103,089	1.5	6,684,765
資産合計	8,332,730	75,429	0.9	8,257,301

3. 連結キャッシュ・フローの状況（間接法）

営業活動によるキャッシュ・フローは、14兆7,651億円の収入となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、15兆6,227億円の支出となった。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、1兆3,790億円の収入となった。

この結果、現金及び現金同等物期末残高は、20兆9,072億円となった。

（第4表）連結キャッシュ・フロー（間接法）

	平成21年中間期 (112行ベース)		(単位:億円)
	計 数	前中間期比	平成20年中間期 (113行ベース)
			計 数
営業活動によるキャッシュ・フロー	147,651	154,945	△7,294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△156,227	△182,369	26,142
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,790	20,238	△6,448
現金及び現金同等物中間期末残高	209,072	30,590	178,482

以 上